



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 旭松食品株式会社

上場取引所 大

コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 足立 恵

TEL 06-6306-4121

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,974	△31.0	100	△77.5	115	△74.0	949	419.4
23年3月期第3四半期	11,551	△12.6	445	—	444	—	182	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 939百万円 (778.9%) 23年3月期第3四半期 106百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	103.67	—
23年3月期第3四半期	19.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,899	8,156	68.3
23年3月期	12,017	7,262	60.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,129百万円 23年3月期 7,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△31.0	200	△60.6	200	△61.1	900	—	98.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,382,943 株	23年3月期	9,382,943 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	223,161 株	23年3月期	222,057 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	9,160,354 株	23年3月期3Q	9,162,683 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後緩やかに回復しつつあるものの、原子力災害やそれに伴う電力供給不足の懸念、また、欧州債務問題や継続的な円高、タイの洪水、原油価格や穀物価格の高騰、デフレの影響などにより、依然先行きに不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、大震災直後の一時的な買いだめや、その後の自粛ムードによる買い控え、包装材料などの入荷不足による商品の供給不足、さらには原材料の高騰によるコスト上昇などを販売価格に転嫁出来ない状況がなお続き、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは前連結会計年度末をもって収益環境が厳しい納豆事業から撤退し、収益構造の改善を図ってまいりました。なお、凍豆腐や加工食品などの主力事業に関しては東日本大震災による直接的な被害は免れたものの、主要原材料の大豆の高騰は円高のメリットを上回り、重油価格も前年同四半期を大きく上回るなど業績面では厳しい状況となりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は納豆事業撤退の影響が大きく79億7千4百万円（前年同四半期比31.0%減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、手頃な価格設定の「ミニパック」シリーズをリニューアル発売し活性化を図ってまいりました。また、最需要期である年末には業界団体とも協力し「おせち料理」への販売促進活動を行ってまいりました。しかしながら前連結会計年度末の大震災直後に出荷が伸びた分、当第3四半期連結累計期間に反動があり、また販売価格の下落が続いており、売上高は32億8千6百万円（前年同四半期比5.3%減）と減少いたしました。加工食品においては、大震災の影響により一部出荷制限を行ったアイテムがありましたものの安定供給に努めました。しかしながら、流通在庫の調整などにより春雨スープを主体にカップ入りタイプが落ち込み、売上高は34億3千1百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

利益面では、納豆事業から撤退による売上高減少に対応した固定費圧縮等による損益分岐点引き下げ過程の中で、大豆等原材料価格の高値継続や一部構造改善に係る費用が発生した等の要因もあり、当第3四半期連結累計期間においては、営業利益1億円（前年同四半期は4億4千5百万円）、経常利益1億1千5百万円（前年同四半期は4億4千4百万円）となりました。また、当第3四半期連結累計期間には納豆事業の営業権及び商標権の売却益を特別利益として計上いたしました結果、四半期純利益は9億4千9百万円（前年同四半期は1億8千2百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ1億1千7百万円減少し、118億9千9百万円（前連結会計年度比1.0%減）となりました。総資産の減少の主な要因は、営業権及び商標権の売却、有形固定資産の売却などにより現金及び預金が10億6千3百万円増加したものの、流動資産及び固定資産に係る繰延税金資産の減少4億円、遊休資産の売却及び減価償却等により有形固定資産が6億4千6百万円減少したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ10億1千1百万円減少し、37億4千3百万円（前連結会計年度比21.3%減）となりました。負債の減少の主な要因は、賞与引当金の減少1億8百万円、短期・長期を合わせた借入金の返済6億3千5百万円、希望退職者への特別退職金の支給などによる退職給付引当金の減少2億7千8百万円があったことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ8億9千3百万円増加し、81億5千6百万円となりました。これは、当第3四半期純利益を9億4千9百万円計上したことなどによるもので

す。以上により自己資本比率は前連結会計年度末に比べ8.1ポイント増加し68.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年5月13日公表の連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,988	2,542,177
受取手形及び売掛金	3,092,852	2,908,507
たな卸資産	866,317	1,004,871
繰延税金資産	299,785	1,232
その他	214,871	212,497
貸倒引当金	△1,673	△1,600
流動資産合計	5,951,142	6,667,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,638,793	6,957,203
減価償却累計額	△5,644,920	△5,256,997
建物及び構築物(純額)	1,993,873	1,700,206
機械装置及び運搬具	11,295,943	8,497,524
減価償却累計額	△10,180,148	△7,546,644
機械装置及び運搬具(純額)	1,115,795	950,880
土地	1,958,494	1,781,439
リース資産	176,122	107,019
減価償却累計額	△138,170	△87,340
リース資産(純額)	37,952	19,679
建設仮勘定	900	12,468
その他	460,791	430,234
減価償却累計額	△394,256	△367,948
その他(純額)	66,534	62,286
有形固定資産合計	5,173,550	4,526,960
無形固定資産	292,734	232,537
投資その他の資産		
投資有価証券	387,176	377,010
長期貸付金	17,885	13,327
繰延税金資産	102,283	—
その他	94,321	82,799
貸倒引当金	△1,513	△327
投資その他の資産合計	600,152	472,809
固定資産合計	6,066,437	5,232,307
資産合計	12,017,580	11,899,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,078	1,148,318
短期借入金	816,411	464,560
リース債務	18,924	10,926
未払金	903,356	847,967
未払法人税等	33,237	10,854
賞与引当金	150,324	41,581
設備関係支払手形	13,971	35,231
その他	327,997	333,131
流動負債合計	3,461,300	2,892,572
固定負債		
長期借入金	285,730	2,500
リース債務	21,640	9,973
繰延税金負債	—	145,292
退職給付引当金	909,987	631,717
資産除去債務	61,794	51,702
その他	14,468	10,011
固定負債合計	1,293,620	851,197
負債合計	4,754,921	3,743,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	4,044,010	4,947,855
自己株式	△126,184	△126,426
株主資本合計	7,168,093	8,071,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,554	85,860
為替換算調整勘定	△22,115	△28,169
その他の包括利益累計額合計	65,438	57,690
少数株主持分	29,126	26,837
純資産合計	7,262,658	8,156,224
負債純資産合計	12,017,580	11,899,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	11,551,325	7,974,051
売上原価	8,498,619	5,920,936
売上総利益	3,052,705	2,053,114
販売費及び一般管理費	2,606,775	1,952,895
営業利益	445,930	100,219
営業外収益		
受取利息	695	1,391
受取配当金	5,983	7,110
受取賃貸料	1,845	126,273
受取保険金	1,780	1,537
受取技術料	671	5,700
為替差益	—	2,837
雑収入	16,431	11,206
営業外収益合計	27,408	156,057
営業外費用		
支払利息	25,518	10,467
賃貸収入原価	364	129,654
為替差損	2,166	—
雑損失	341	226
営業外費用合計	28,391	140,348
経常利益	444,947	115,928
特別利益		
固定資産売却益	628	22,037
投資有価証券売却益	36,735	184
営業権及び商標権の売却益	—	1,400,000
資産除去債務履行差額	—	9,926
特別利益合計	37,364	1,432,148
特別損失		
固定資産除却損	10,610	14,321
固定資産売却損	15	3,296
減損損失	200,262	—
投資有価証券評価損	5,799	—
投資有価証券売却損	2,252	—
ゴルフ会員権評価損	7,006	—
関係会社出資金売却損	—	16,107
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	49,198	—
特別損失合計	275,144	33,725
税金等調整前四半期純利益	207,167	1,514,351
法人税、住民税及び事業税	22,087	8,377
法人税等調整額	4,007	557,941
法人税等合計	26,094	566,318
少数株主損益調整前四半期純利益	181,072	948,032
少数株主損失(△)	△1,750	△1,616
四半期純利益	182,823	949,648

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	181,072	948,032
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,933	△1,693
繰延ヘッジ損益	△4,888	—
為替換算調整勘定	△26,345	△6,727
その他の包括利益合計	△74,167	△8,420
四半期包括利益	106,904	939,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,290	941,900
少数株主に係る四半期包括利益	△4,385	△2,288

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	11,533,764	11,533,764	17,560	11,551,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	773	773	—	773
計	11,534,538	11,534,538	17,560	11,552,098
セグメント利益	1,645,692	1,645,692	7,664	1,653,356

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,645,692
「その他」の区分の利益	7,664
セグメント間取引消去	△773
全社費用(注)	△1,206,652
四半期連結損益計算書の営業利益	445,930

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食料品事業」セグメントにおいて、売却を予定している一部遊休設備について、帳簿価額の見直しを行った結果、帳簿価額が売却見積価額を超える物件に対し減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、200,262千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	食料品事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	7,955,941	7,955,941	18,109	7,974,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	629	629	—	629
計	7,956,571	7,956,571	18,109	7,974,681
セグメント利益	1,118,715	1,118,715	10,023	1,128,738

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、素材事業及び健康食品事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,118,715
「その他」の区分の利益	10,023
セグメント間取引消去	△629
全社費用(注)	△1,027,889
四半期連結損益計算書の営業利益	100,219

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

食料品事業セグメントの主要製品のうち、納豆については、平成23年3月末をもって撤退いたしました。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。